

☆進路について考えよう☆

「進路選択」とは何でしょうか。

当たり前のことですが、自分の未来を自分で選び、決定することです。

4月のHRでこれから一年間の流れを確認しましたが、自分がしたいことや行きたい学校は決まりましたか？また、まだ決まっていなくても進路選択へ向けて何か行動を起こしていますか？これからの自分の人生を決めたり変えたりすることができるのは、「行動した人」だけです。まずはこの通信を読んだ今日から進路選択へ向けた行動を起こしてみましょう。

先に述べたように、進路選択は単に目先の進学先を選ぶことだけではありません。自分の将来、少なくとも3年後までしっかり見すえて選択することです（当たり前ですね、自分の未来の人生に合わせて、進路を選ぶのですから）。

また、本来若者にとって未来は夢と希望にあふれているものであるはずですが。

しかし残念ながら高校進学後、そのような夢と希望を実現できないような結果になり、令和2年度は全国で約35000人（約1%）の人が「中途退学」をしています。

つまり、せっかく入学した高校を途中でやめているのです。現在の厳しい世の中で、高校卒業の資格がなければ将来自分にとって大変不利になるのは分かっているのに、なぜそんなことになるのでしょうか。



いろんな理由が考えられますが、中学校の段階で自分の進路を真剣に考えなかったことが一因として考えられます。

「みんなが行くから」とか「親が行けと言った」などというあいまいな理由で進路を選んだ結果、「意欲がわからない」

「想像していたのとちがう」「面白くない」などと言って、学校をやめていくのです。

また、やめないまでも「灰（ハイ）スクール」などと呼ばれるような、あまり楽しくない高校生活を送っている人もいます。君たちはそんなことにならないように、真剣に自分の進路を考えましょう。「想像していたのとちがう」などと言わずにすむように、しっかり調べてオープンスクール等に参加しましょう。学習して自分を高めましょう。意欲を育てましょう。いろんな努力をしましょう。いろんな人と相談したり、話をしたりしましょう。そして希望に満ちた未来を獲得しましょう。

そのような未来を獲得する為に、君たちは今日からどう行動しますか？

☆中学校を卒業したら・・・☆

現在大阪府では高校の多様化が進み、中学生が進路の選択肢を広げられるように、さまざまな学科が設置されています。

例年この時期は公立の普通科を希望している人が多いです。

確かに身近に見聞きするのは公立普通科、特に枚方市内の公立普通科のことが多いでしょう。

しかし「自分は普通科志望やから、他は知らんでええ」といって他の学科の情報を得ないことはもったいないかもしれません。

本当に「自分」が普通科に向いているのかどうか、考えたことがありますか？

将来のことを考えたとき、普通科以外の学科を選んだ方が良い場合があります。

例えば高校を卒業して、機械・電気・建築・工業関係に就職したいと考える場合、工業関係の専門学科に進学した方が有利です。

また高校を卒業してすぐに事務系統の仕事に就きたいと考えるなら、商業系統の高校に進学して、簿記やコンピュータの電算処理の勉強をした方が有利なのです。

現在の目まぐるしく変化する世の中で高校生が有利な就職をするためには、中学生の段階で職業を考えながらしっかり努力する必要があるということなのです。

進路は一人ひとりの生き方に直結するかたちで選ぶことが大切です。したがって名前だけで高校を選ぶことは望ましくありません。

もちろん、学習の成績の問題は関係します。しかし現在、進学先は多様化していますから成績が悪いからといって、全てをあきらめる必要はありません。これから頑張れば、成績も伸びるでしょう。これからの取り組む姿勢が大切なのです。

この進路通信を使って、どのような進路があるのかを知ることにしっかり取り組んでいきましょう。もうすでに自分の進路を決めている人でも、広い視野に立って進路を見つめ直すのは決してムダではありません。将来自分がしたいことを考えていろいろな情報を得るなかで、理想・夢・目標を実現できる進路を、そして自分が納得できる進路を選びましょう。

